

12月7日（月）ルカ2：11

きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。

「今日こそ」、「明日こそ」、そして、「あの人こそ」、私の内にある様々な「～こそ」。はたして、それらの私がつくりだした「～こそ」の結果は、これまでどのようであったでしょうか。

主よ、私の願いと期待がこもった「～こそ」を「主キリスト」にのみ向けるようにお示しいただきありがとうございます。

他の様々な「～こそ」に心を奪われる必要がないまでに、救い主であるあなたはこの心を満たしてくださることを感謝いたします。「この方こそ」と私もあなたをほめたたえます。



8日（火）ルカ2：7

男子の初子を産んだ。それで、布にくるんで、飼葉おけに寝かせた。宿屋には彼らのいる場所がなかったからである。

自分の居場所を探しておられるでしょうか。今、居られるその場所は自分の居場所ではないのでしょうか。自分にはもっと相應しい場所があるはずなのではないでしょうか。

主よ、もしもあなたが王宮で誕生されたなら私は今居るこの場所にあなたが共にいてくださるとは信じられたでしょうか。けれどもあなたは、誕生される場所をなくし、飼葉おけにその身をゆだねられました。私は今居る場所にあなたが共にいてくださることを信じます。

私の心から不満を去らせ、喜びを満たしてください感謝いたします。



9日（水）ヨハネ1：14

ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。

クリスマスはわたしたちにとりましてグッドニュースです。しかもそれは単なる知らせではありません。「ことばは人となった」ことで、私たちは、救い主を体験し、救い主と交わりを得ることが可能とされたのです。

主よ、私たちを救い主を体験できる者とさせてくださりありがとうございます。「恵み」と「まこと」を絵空事ではなく、十字架と復活の恵みによって体験することができますことを感謝いたします。



10日（木）ルカ2：15

御使いたちが彼らを離れて天に帰ったとき、羊飼いたちは互いに話し合った。「さあ、ベツレヘムに行って、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を見て来よう。」

羊飼いたちが最初に発したこの言葉は喜びと期待に満ち満ちています。これが御降誕の出来事を迎える者の素直な気持ちなのではないでしょうか。

主よ、今年もクリスマスを迎えようとして
います。私の心がその出来事を行事として当
たり前のように迎えるのではなく、この羊飼
いたちのように、主の出来事として、喜びと
期待をもって迎えるように助けてください。



11日(金) マタイ2:12

それから、夢でヘロデのところへ戻るなど
いう戒めを受けたので、別の道から自分の国
へ帰って行った。

地上で人が企てる全ての策略は、主の御心
の前に無力です。

主よ、それがどんなに力強く、賢く、魅力
的に見えたとしても、私が策略に対して策略
で応じることがないように助けてください。
救い主を見つめたその目が見出し得たこの世
の方法とは「別の道」をあなたは私にも備え
てくださることを感謝いたします。



12日(土) ピリピ2:6-7

キリストは、神の御姿であられる方なのに、
神のあり方を捨てることができないとは考え
ないで、ご自分を無にして、仕える者の姿を
とり、人間と同じようになられたのです。

飼い葉おけから十字架に至る道を歩むこと
ができる唯一の姿、それは「仕える者の姿」
です。

十字架の主よ、あなたは私に仕える者とな
ってくださいました。今年のクリスマスに私
にとって大切なあの方が救い主に出会うため
に、私は何をすべきでしょうか。あなたが
私に仕えることを教えてくださっていること
を感謝いたします。



みことばと共に行くアドベント

2015

第2週

